

令和5年度前期 学生を対象とした授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：看護理論特論	授業コード：M11001
担当教員氏名	岡田実、濱中喜代
<p>修士論文を作成するうえで関連してくる概念や理論あるいは文献などを素材に、パワーポイントでクリアにプレゼンテーションすること、そしてそれらを巡ってディスカッションし、曖昧な部分を明確にしていく作業を求めました。いずれも論文の執筆やプレゼンテーション、質疑応答に役立つ作業になればと考えています。</p>	

授業科目名：看護研究方法特論 I	授業コード：M11002
担当教員氏名	岡田実、江守陽子
<p>修士論文の作成を「ものごと」をつまむように論文1編を仕上げることに比べれば、遥かに広範囲の諸問題を扱わなくてはなりません。「根こそぎ」にする作業になるからこそ、辛くて大変なのだと思いますし、そこに達成感が潜まれていると思います。</p>	

授業科目名：統計学特論	授業コード：M11005
担当教員氏名	大井慈郎
<p>好意的にご評価いただきありがとうございます。みなさまが積極的に受講してくださったおかげで良い授業になったと思います。</p> <p>この授業の内容はこれから繰り返し実践を行うなかで理解が深まるものです。授業の録画など、復習できる教材を共有しておりますので引き続き参考にさせていただき、みなさまの研究活動の助力になれば幸いです。</p>	

授業科目名：質的研究方法特論	授業コード：M11006
担当教員氏名	大井慈郎、岡田実
<p>好意的にご評価いただきありがとうございます。みなさまが積極的に受講してくださったおかげで良い授業になったと思います。</p> <p>この授業では、多くの種類の論文を読んでいただくことで、質的調査についてのイメージを相対化していただくことができたのではないかと考えております。みなさまの研究活動の助力になれば幸いです。</p>	

授業科目名：看護学教育特論	授業コード：M11011
担当教員氏名	江守陽子、濱中喜代、土田幸子、石井真紀子
<p>授業評価アンケートの回答では、私ども教員の看護学教育に対する考えがきちんと受け止めていただいた手ごたえを感じました。</p> <p>さすが、経験を積んだ社会人大学院生だけのことはあり、自ら積極的に学ぶ姿に私ども教員も大変感銘を受けました。看護職として、また未来の看護系の教員候補として継続的に、自主的に学び続けてください。</p>	

授業科目名：地域看護学特論 I	授業コード：M21005
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>地域看護学特論 I の講義では、国内外の保健・医療・福祉の制度設計についてディスカッションした。特にアメリカにおける「精神保健政策とサービス」については、日本における公衆衛生看護活動で培ってきた技術や制度との違いについて学ぶ機会になったと考えている。</p> <p>また、我が国における公衆衛生看護活動の歴史から、今後の社会変化に伴う活動の「あるべき姿」を講義で使用した文献を基に深めていただきたい。</p>	

授業科目名：地域看護学演習 I	授業コード：M21007
担当教員氏名	鈴木るり子
<p>地域看護学演習 I では、自己の研究テーマについて、看護研究論文をクリティークしながら積極的に受講していた。</p> <p>特に、入学時の研究テーマについて、メンバーとディスカッションしながら、自己の研究テーマについて、講義計画と照らし合わせながら研究計画書作成に取り組んでいた。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅰ	授業コード：M41001
担当教員氏名	伊藤 収
<p>本科目は、大学院開設以来3年連続で開講しているが、今年度の履修生の御二方の御所属が、御一方が大規模病院で、もう御一方が特別養護老人ホームと、御所属が異なるため授業進行には大変に気を配ることとなった。当然のこととして御一方に焦点を当てて話を進めると、もう御一方には関心の乏しい話題となるため、履修生御二方の授業満足度は、かなり低下することが予測されたが、授業評価アンケートの結果からは、そのような指摘はなく、改善の必要性についても指摘されていなかった。</p> <p>また、本科目は「臨床看護管理者」を「看護科学者」へと導く最初の科目であるため、提示する課題には履修生の実力の応じ段階の異なるものを設定しているが、その最高段階の課題についてもほぼ達成していた。それは御二方の力量の高さに加えて、異なる所属施設の話題が対比となって御二方それぞれの学びを促進させた可能性を示唆していた。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅱ	授業コード：M41002
担当教員氏名	伊藤 収
<p>本科目は、看護管理学特論Ⅰに引き続き開講している科目である。改善要望等は無く、良い評価を得たアンケート結果と想定できる。</p> <p>なお、授業評価アンケート（自由記載欄）に記載があったように、看護管理に関連する（研究成果・文献）以上に（教員の看護管理体験の経験談）が履修生の方達には、有意義であったようだ。</p> <p>特に、履修生の御二方にとって「大病院での看護職の異動・昇格」に関する事柄は、「させられた体験はあっても、させた体験が無い」ものであり、より高い関心をもってもらえたと思われる。</p>	

授業科目名：看護管理学特論Ⅲ	授業コード：M41003
担当教員氏名	伊藤 収
<p>看護管理学特論Ⅰ・看護管理学特論Ⅱに続く科目であるが、大学院修了後に「認定看護管理者」の資格獲得に資する内容が多くなる科目である。</p> <p>特に（医療機関内での経営参画）や（院外活動）といった内容は、上記の資格取得には必須の知識とされているが、それらの体験を有する履修生の方と、その体験がまだ乏しい履修生の方の間で理解度に（差）が生じた可能性がある。後期の必修科目「看護管理学演習」で、その点を確認し理解度に（差）がある場合は、補足授業を行うこととする。</p>	

令和5（2023）年度授業評価アンケート

【科目名：大学で入力】

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

No.	質問内容	全くそう思わない	強く思う
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2 3 4 5
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2 3 4 5
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2 3 4 5
10	プレゼンテーション（担当課題）の事前準備は適切でしたか。	1	2 3 4 5
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2 3 4 5
12	授業に参加する態度（質問や発言）は適切でしたか。	1	2 3 4 5
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2 3 4 5
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2 3 4 5
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。		

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

大学院授業改善報告書

授業科目名：	授業コード：
担当教員氏名	
開講年度・時期	令和 5 年度 <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等 <u>(この部分はHPで公開します)</u>	
2. 受講している院生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 <u>(この部分は大学院FD委員会で共有します)</u>	

※令和5年11月17日(金)を目途にご返送願います。